

ながおか

市政だより

1988

9

No.409

編集・発行/長岡市文書広報課 〒940 長岡市幸町2丁目1番1号 (☎0258-35-1122) 昭和63年9月1日発行



広がれ！交流の輪

長岡市の姉妹都市・フォートワース市から、市民代表団が長岡まつりに合わせて来岡しました。代表団はボーリン市長をはじめとする48人。非核平和市民の集い、長岡まつりに参加するなど、市民と親善を深め合いました。



▶非核平和市民の集い、市民約五百人とともに世界平和を願った



▲前夜祭に参加した子供たちと気軽に握手
▲前夜祭の開幕パレードで市民の声援にこたえる日浦市長とボーリン市長

今月の主な内容

●姉妹都市・フォートワース市民代表団が来岡 (P. 2~5)

●国営公園の基本構想案を発表 (P. 6)

▶セントラルパークで開かれたパーティでは、代表団全員で歌を披露

秋の七草の一つで、山野で見られる大形つる性のマメ科植物。

花期は夏～秋、赤紫色の花を密集成る。根から葛粉がとれ、葛湯や葛餅に。又、根を乾燥、煎じたのが風邪薬として有名な葛根湯。その他、繁殖力がおう盛なので土壊保全や水源確保にも利用される。



NAGAKA
ナガオカ
ナイチャ
スイコウ
自然観察

9月

白サギの中では最も小さく、最も普通に見られるサギである。

夏の間に繁殖という大仕事を終え、初秋の信濃川で魚を追う姿には春のときとはまた違った生気が感じられる。



戊辰戦争は、鉄砲を中心とした近代的な武器で戦われた。ところが、鉄砲で戦うことをいさぎよしとせず、あくまで武士の命たる刀や槍で戦おうとした者がいた。この「変わり者」が特に許されて小隊を組んだのが、刀隊と槍隊である。その許可の条件として、鉄砲を背負って戦うことを義務づけられたというが、両隊はついに最前線で奮戦した。刀隊は、三十九名中七名が戦死。隊長大川正則の依頼で小林虎三郎が文を書き、戦いの翌年（明治二年）に刀隊の碑が建てられた。

この碑文の中で、虎三郎は河井継之助を激しく非難している。

「戊辰戦争のとき、我が藩の指導者は迷ったあげく道を誤り、みだりに自分の考えを言い張って、ついに反対を押し切って官軍に

く真っ黒い石油が吹き上げられ、大雨のように周囲の人々に降りかかった。顔にべっとりとついた黒いオイルを両手で拭い、白い歯をむきだしにして喜びに肩を抱き合って踊り狂う光景をご想像あれ。

学校の校庭、教会の敷地、住宅地と言わず墓地と言わず、いたる所に石油槽が立ち並び、一夜にして大金持ちになる人が続出。投機が呼び起こす札幌が町中に舞い上がり、大ブームが到来した。それに伴って、精製工場、副産物科学工場、機械工場、事務所、住宅等の建設が相次ぎ、遠方よりフォートワースを目指して人口の流入が続いた。

歴史は移る……。

1973年および1978年の2回にわたるオイルショックによる石油需要の低下と、市況の不安定により、石油産業は次第に下降線をたどることになる。

これを見通すがごとく、フォートワースには、航空機産業、電子産業が台頭し、石油依存から徐々に脱皮して今日にいたる。(つづく)

フォートワース日系人会名誉会長
山縣 康さん寄稿

董柴神社参道の中ほど、玉橋（蛇橋）を渡って左の小道へはいる。山本帶刀、渡辺麻吉、福島甲子三らの石碑がある。この道の入り口の両わきに建っている碑は、右が「槍隊の碑」、そして左が「刀隊の碑」である。

董柴神社参道の中ほど、玉橋（蛇橋）を渡って左の小

道へはいる。山本帶刀、

渡辺麻吉、福島甲子三らの

石碑がある。この道の入り

口の両わきに建っている碑

は、右が「槍隊の碑」、そし

て左が「刀隊の碑」である。

董柴神社参道の中ほど、玉橋（蛇橋）を渡って左の小

道へはいる。山本帶刀、

渡辺麻吉、福島甲子三らの

個性豊かな
国際文化都市へ

ようこそ! フォートワースの皆さん

国際交流、深まる理解と親善

▲「ようこそ! 関原小学校へ」。子供たちの握手攻めに
うれしそうにこたえるフォートワースのみなさん

この夏、はるばるアメリカ・フォートワース市から市民代表団四十八名が長岡を訪れました。滞在中、長岡まつりへの参加をはじめ、非核平和市民の集いやホームステイなど、短い期間ながら、交流の機会は多種多様で盛りだくさん。市民同士の交流は、確実に深まってきました。今回初めて日本を訪れたというリチャード・ミンカーさん(姉妹都市協会長岡委員会副委員長)と夫人のキャロルさんを中心に三日間の滞在の様子を振り返ってみました。



7月31日 (日)

午前十時五十七分、長岡駅ホームに到着した新幹線の扉を開くと真っ先に降り立ったのは、ボーリン市長。さっそく日浦市長と固い握手を交わし、昨年十一月の姉妹都市締結調印式以来の再会を喜び合いました。

午後からは旅の疲れも見せず、四つのグループに分かれて熱心に市内を見学。ミンカーさんはニュータウンや馬高遺跡などを見学したあと、関原小学校で児童との交歓会に臨みました。「大勢の子供たちの歓迎を受けてうれしかった。子供たちの火焰太鼓の演技には感心しました。私もハチを借りて打つてみたけど、難しいね」。

夕方は、市内のホテルで歓迎パーティー。三百人余りの市民が参加し、熱気あふれた会場では、片言の英語でも進んで話しかけようとする若い人たちも目立ちました。長岡の印象は? の間に、「みんな親切で、街の中もとてもきれい。田んぼの緑が美しい」と、ほめっぱなしのミンカーさん。「学生の交換留学などでもっともっと交流の輪を広げていきたいですね」と抱負を語っていました。



▲関原小学校で折りおりづるのレイをかけてもらうミンカーさん



▼パーティーでは子供たちの弦楽合奏などで歓迎ムードを盛り上げました



▲屈託のない笑顔でボーリン市長に話しかける子供たち

8月1日 (月)

午前九時、夏の強い陽さしが照りつける明治公園で行われた「非核平和都市宣言市民の集い」。今年はボーリン市長はじめフォートワースからの代表十二人も参列しました。「胸の中に様々な感情がわきおこってきて、とても一言では言い表せない気持ちになりました。日本に来て共に世界の平和を願うことができて心から喜んでいます」とミンカーサン。

この後は、姉妹都市締結一周年の記念式典。そして、午後からは交流計画についての懇談会、夕方はフォートワース側主催パーティーと続き、最後に長岡まつりの前夜祭参加で友好ムードは頂点に達しました。

8月2日 (火)

このヒ午前中は自由時間。以前小学校の教師だった夫人のキャロルさんは「ながおか女性アラン」にも携わっている小村トヨさん宅を訪問し、集まつた市内の女性の方たちと語り合いました。「私も今はボランティアをしていますが、日本の方と婦人の自立や社会参加、老人問題などを率直に話し合えて、充実した時間でした」。

まつりの昼行事では、青い目の七人のサムライが武者行列に参加。ミンカーさんもその一人で、汗だくの顔をほころばせて「長岡の伝統的な行事に参加できて大変光栄です」と、感激した様子。

そして、夜は待ちに待った花火見物。「話には聞いていたが火見物。『話には聞いていたが火見物。』『SUPER・スバラシイ!』と、夜空いっぱいに広がる豪華なスター・マインに見とれて、しばし表現する言葉がないミンカーワーク。夜空に向かって夢中でビデオ・カメラを回していました。

翌日三日午前中、一行は滞在中に出会った様々な人との思い出を胸に、帰路につきました。ホームで見送る市民の皆さんと、握手を抱き合つて別れを惜しむ様子に、この交流が確かな実を感じていることが感じられました。



▲「ナガオカ市とフォートワース市は皆トモダチ」と、替え歌を合唱する代表団のみなさん



▼平和像の前に花を捧げるキャロル・ミンカーさん

▲記念に、長岡からはみこしのミニチュア、フォートワースからは馬のくらが、お互いに贈られました(記念式典で)



▶さすがに、アメリカはテキサスの出身だけあって、馬にまたがるボーリン市長の姿は堂に入つたもの。沿道の観衆から盛んな拍手を受けていました



▲「長岡の花火は世界一だ」…花火が打ち上がるたびに大歓声がわき起っていました

個性豊かな
国際文化都市へ

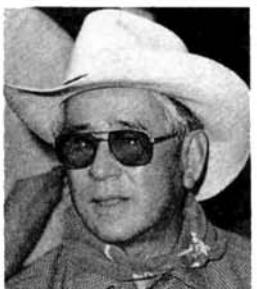
あなたも国際人に…… フォートワースとの交流を通して

先月、姉妹都市締結一周年の記念式典が行われました。これから様々な交流が始まることになります。国際化が進んでいる今日、私たち一人ひとりが、肌の色、言葉、文化などの異なる人々と交流して、相手の文化を理解し、尊重する「国際人」になることは大切なことです。そのためにも、フォートワースの人たちとふれあい、友好を深めていきましょう。



長い友好関係を

長岡の皆さんから受けた温かいものなしさは、決して忘れません。昔は戦争をした日本とアメリカが、今や親善交流をするようになるなんて、なんとも言い表せない、感慨深いものがあります。お互い人の行き来をしてよく知り合い、友好関係が長く続くことを望みます。



活発な交流に期待

スポーツ、教育、ビジネス、文化など様々な分野で活発な交流が行われ、長岡市、フォートワース市がともに発展していくことを期待しています。130人いる私たち日本人会も、両市の交流にできるかぎりお手伝いをしていくつもりです。



みこしてふれた日本文化

日本の文化に興味を持ち、現在東京の大学で日本語を勉強しています。それにしても長岡まつりはすばらしいものですね。おみこしを担ぎましたが、皆さんがあふれんばかりの情熱を実感することができました。日本の文化にふれる貴重な体験だったと思います。



機会があればフォートワースに

つい最近までアメリカに留学していたので、姉妹都市がアメリカの都市になって嬉しいですね。今日は英語が聞きたくて弟と一緒にパーティーに来ましたが、楽しく過ごすことができました。機会があったらフォートワースに行ってみたいと思います。

市内には四つの大学と四つの短大、三つの大きな美術館、動物・植物園があるなど、文化・観光施設も充実している。

西部の入植者をインディアンの攻撃から守る騎兵隊の砦が設けられたのが市の発祥で、メキシコとの戦争で活躍したワース将軍の名がまちの名前のいわれとなっている。

同州ではダラスやヒューストンと並ぶ先端産業都市であり、航空機、自動車、機械、食品加工、醸造などの産業も盛ん。

国際交流というとつい身構えてしまいがちですが、同じ人間同士ですから堅苦しく考えないで付き合えば、必ず友情が生まれてきます。国籍も肌の色も文化も違うフォートワースの人たちと友人になる、これだけで何物にもかえがたい財産になるのではないかでしょうか。それに、付き合には、お互い文化などを本当に理解

しなければなりません。それが国際交流につながるのではないでしょか。



長岡・フォートワース姉妹都市協会の事務局長を務める山本茂樹さん

み、長岡でも様々な分野で外国とかかわる機会が多くなっています。国際交流はもつ決して特別なことではないのです。

異質な文化を持つ相手と交流することは、自らの文化を見つめ直すことにもなります。文化、言葉、風習、価値観などの違いを乗り越えてフォートワースに友人をつくり、理解と親善を深め合いましょう。このことは、国際色豊かな人間にないチャンスであると

もに、「個性豊かな国際化都市」を目指している長岡市にとっても大きな役割を果たすことになります。

フォートワースと長岡との間に生まれた、この友好のきずなをより確かなものにするために、一人でも多くの市民から参加していただいて、息の長い交流を続けていきたいものです。

フオートワース市の概要

カナダ
アメリカ合衆国
テキサス州の北部中央に位置するフオートワース市。人口約四十二万人、面積は六百二十平方メートル。



▲大学生のニキ・ルブランクさん（右）と高校生のミッセル・ロレンズさんは姉妹都市協会事務局長の山本茂樹さんのお宅にホームステイ。三日間という短い期間たっぷり家族の一員になりました。

今後は両市の姉妹都市協会の間で、この合意書に沿って具体的な交流内容が決められることになります。

多くの人の参加で固い友好のきずなを
ボーリン市長は、「長岡市民の温かい歓迎にとても感激しました。何よりも嬉しかったのは市民の皆さんのが心を開いてくださったことです」と言って、長岡を発ちました。

国際交流も、人と人との交わりから始まります。たとえ外国语が得意でなくとも、誠意と友情を示せば自然に心と心のふれあいが生まれるに違ひありません。
、ま国際化はどんどん進みます。

▶セントラルパークで行われた焼き肉パーティで熱演する悠久太鼓「青悠会」のメンバー。青悠会は今月下旬にフォートワース市で開かれる姉妹都市週間で悠久太鼓を披露する予定



記念式典に引き続いだ役員懇談会には、両市から15人ずつが出席。教育、文化、スポーツなど7つの部門に分かれて、様々な意見を交わしていました。

〔主な意見〕・教師の相互派遣を行う・学校同士が姉妹校として交流する・画家の作品交換を行う・フォートワースでサマーキャンプ交歓を行う・フォートワースカウタウンマラソン（毎年2月）へ参加する・高校生の水泳選手の交流を行う。
提案された意見は、十分に検討され、できるものから順次実施していくことになります。

お知らせ



Mr. 小林の
園芸教室 ⑯

●園芸相談（無料）を実施しています。毎週木曜日、午前10時～午後4時、フラワーセンター直営所（厚生会館前）相談内容は草花園芸についてです。

上旬はまだ残暑が厳しく、熱帯性の植物の他は夏バテ気味です。それは暑められたコンクリートに当たらないように、人工芝や古いジュウタン、スノコ板などを敷いて熱の吸収を防ぎます。

それで日光が直接コンクリートに当たらないように、人工芝や古いジュウタン、スノコ板などを敷いて熱の吸収を防ぎます。

春から咲いてきた鉢植えや庭植えの草花は、夏が終わるころには伸びすぎて草姿が悪くなったり、夏バテしているものが見受けられます。ここで適切な手入れをしてリフレッシュさせましょう。雪国での秋の園芸は一日が暮の一週間にもありますので手際よく作業を進めましょう。

そこで日光が直接コンクリートに当たらないように、人工芝や古いジュウタン、スノコ板などを敷いて熱の吸収を防ぎます。

春から咲いてきた鉢植えや庭植えの草花は、夏が終わるころには伸びすぎて草姿が悪くなったり、夏バテしているものが見受けられます。ここで適切な手入れをしてリフレッシュさせましょう。雪国での秋の園芸は一日が暮の一週間にもありますので手際よく作業を進めましょう。

草花類の夏バテ、リフレッシュ！

（九月の主な作業メモ）

草花類の夏バテ、リフレッシュ！

（九月の主な作業メモ）

（九月の主な作業メモ）</